



菅原 正新さん(82)
みゑ子さん(75)
石越町・第14
1964(昭和39)年3月入籍

たまにはけんかすんのも必要

★二人のなれ初めは
【みゑ子】仲人の紹介で、私より父が気に入ったの。農作業をしたことがなかったから、農家に嫁ぐのが不安だったよ。
★お互いの第一印象は
【正新】一緒にになりだいなって思ったよ。
【みゑ子】最初はおとなしい人だと思っただけけど、仕事は厳しくて嫌だなって思ったの。
★結婚当時の思い出は
【みゑ子】農作業が大変で何度も実家に帰りたいって言ってたね。草取りもまともにできなかったの(笑)。
【正新】実家に帰られつと困ったから、10年たてば時代が変わって
から頑張れって言ってたよ(笑)。
★お互いの性格は
【正新】よく言えばおおらか。
【みゑ子】とにかく几帳面だから、いろいろ大変なの。
★夫婦円満のコツは
【正新】たまには、けんかすんのも必要だと思うよ。
【みゑ子】だまって付いていくだけだね。けんかになつたら私から引くもの。
★これからしたいことは
【正新】もう少しがんばって働きたい。仕事を辞めたら、ゆっくり温泉や旅行に女房を連れてあげたいなって思ってるの。苦労掛けたからね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「家族と古里に感謝」

私は、約100坪の茅葺屋根の家に生まれました。戦後の生まれなので、戦争の記憶はありませんが、3歳ぐらいの頃、痩せ細った兄が戦地から帰ってきた光景が今でも忘れられません。

私の幼少期は、とても元気で、いつも走り回っていました。小学校に入学し、家から4キロの通学路を徒歩で通うのは大変でしたが、6年間欠席することなく通学しました。小学5、6年の頃、田植えが始まる農繁期になり、大人が忙しくなると、まだ小さかったおいの面倒を見るように行きました。学校と一緒に連れて行きました。お腹がすいて泣いたときは、おづこ(母乳)を飲ませるため、母がいる田んぼに

古屋 てつ子さん(76)

在京津山会幹事
津山町(横山11区)出身



びつたりの食材も取りそろえています。
また、レストランではマイタケをふんだんに使用した舞茸ラーメンが人気です。

Qこれから開催されるイベントなどを教えてください
「東和の秋まつり」が10月27日(土)に東和総合支所西側の特設開場で開催されます。秋の味覚が盛りだくさんの直売のほか、郷土料理「はつと」や中学生が自ら企画した商品販売するコーナーもあります。ステージでは、郷土芸能やよさこいの披露、小・中学校の合奏や吹奏楽の発表などがある

私(てつ子)は、約100坪の茅葺屋根の家に生まれました。戦後の生まれなので、戦争の記憶はありませんが、3歳ぐらいの頃、痩せ細った兄が戦地から帰ってきた光景が今でも忘れられません。

行き、また学校に戻ることも。授業中に眠くて泣いたときは、先生から「廊下に出てほらげ」と言われ、おんぶして背中が重かったのを覚えています。学校で、おいの世話をするのが「おしよすい」と思ったのを記憶しています。今思えば、そのことが自分自身にとって社会勉強になりました。

私の家は農家だったので、中学を卒業してから本格的に手伝うようになりました。農業のほかにも、林業や養蚕業も営み、ほとんど休みもなく9年間働きました。農作業が終わると、ご苦労様会が民宿で開かれ、歌ったり踊ったりしたのが楽しかったです。

大人になると、父から近所に嫁ぐように言われ続けました。都会への憧れが強かったので、両親の反対を押し切り、東京に行くことを決意。出発の日の朝、母が大粒の涙を流していたのが今でも心に焼き付いています。上京後も母のことがずっと気掛かりでしたが、母を100歳まで介護してもらった姉には感謝しています。現在は卓球の学童クラブやサークルを立ち上げ指導しています。私を育ててくれた家族と古里にとっても感謝しています。



多くの人でにぎわう秋まつり

【問い合わせ】道の駅林林館「森の茶屋」
☎0220(45)1218
東和の秋まつり実行委員会(みやぎ北上商工会東和支所内)
☎0220(45)2121

おらほの道の駅

道の駅林林館「森の茶屋」



スタッフの佐藤さんのお勧めは、爽やかな酸味と甘さが口いっぱいに広がるリンゴ「つがる」。



スープと具材に東和産のマイタケを使用した舞茸ラーメン

今月は、道の駅林林館「森の茶屋」の熊谷信駅長にお話を伺いました。
Qお勧め商品などを教えてください
新米のほか、マイタケやシメジなどの山の幸が旬を迎えました。ゴボウ、ニンジンやサトイモなど、芋煮の材料に

俳句

十六夜や藍の山並み肅々と
幼な児のしゃぼん玉とんでいなし雲
鱗雲夕暮れ幻灯影絵劇
紅に燃ゆるかまつか空青し
終活を一息入れて茗荷汁
北斗星数へる庭に木犀香
尺八の遠き調べや後の月

菅原れい子 (迫)
亀井 祐子 (迫)
鈴木 厳優 (登米)
及川 澄子 (東和)
及川 裕子 (東和)
及川 守男 (東和)
首藤 恭子 (東和)

草紅葉かや葺き屋根は湖のそば

草紅葉しきりと野辺の風遊ぶ
秋暑し髪かき上げて推敲す
雨弾きまた燃え上がる葉鶏頭
絵手紙はコスモスの花日の匂い
マネキンも衣更えして秋の暮
仲秋や月に行く人愛る人
幾山河ありて米寿の秋さやか

小野寺禮喜子 (中田)
千葉かつ子 (中田)
二木ゆきこ (中田)
山内 雅子 (中田)
今野ひろ子 (豊里)
石崎よしの (米山)
佐藤 昭子 (南方)
佐藤みゑ子 (津山)

応募総数35作品

作品募集!

●12月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、10月31日(水)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

まちの文芸
俳句・川柳